

事務事業名		綾里簡易水道施設整備事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	20 良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)	
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 28 年度～ 1 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		水道法		予算科目 会計 款 項 目 事業 16 01 01 02 02 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	都市整備部簡易水道事業所			
	課長名	佐藤 悦夫			
	係名	簡易水道係	電話	0192-27-3111	
	担当者	橋本 邦彦	内線	172	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
綾里川ダム水のマンガン濃度が高く、綾里浄水場の膜ろ過設備に障害を及ぼすことから、これを除去する設備を整備し、もって安全安心な水道水の安定供給を図る。 なお、令和元年度をもって綾里浄水場マンガン除去施設整備工事(平成30年度～、債務負担行為)が完成し、所期の目的が達成された。				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 408,300 その他 10,468 一般財源 事業費計(A) 418,768 正規職員従事人数 1 延べ業務時間 2,300 人件費計(B) 9,200 トータルコスト(A)+(B) 427,968	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア マンガン除去施設整備 箇所 イ ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
マンガン除去施設整備工事(完成)			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
なし(マンガン除去施設整備の稼働開始)			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大船渡市		名称 単位 カ 給水区域内人口 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
綾里川ダム水を取水し、適正な浄化処理を施す。		名称 単位 サ マンガン及び化合物(原水)の水質検査結果 mg/ℓ シ マンガン及び化合物(浄水)の水質検査結果 mg/ℓ ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
住みやすい生活環境になる。			

(2) 総事業費・指標等の推移										
		単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円			17,300	110,100	280,900	
			その他	千 円	4,752	5,548	93	75		
			一般財源	千 円						
			事業費計 (A)	千 円	0	4,752	22,848	110,193	280,975	0
	人件費		正規職員従事人数	人		1	1	1	1	
			延べ業務時間	時 間		600	700	500	500	
			人件費計 (B)	千 円	0	2,400	2,800	2,000	2,000	0
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	7,152	25,648	112,193	282,975	0
⑤活動指標		ア	箇所		1	1	1	1		
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	2,501	2,436	2,394	2,321	2,278		
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	mg/ℓ	0.010	0.018	0.030	0.018	0.027	0.05以下	
		シ	mg/ℓ	<0.001	0.012	0.001	0.009	<0.005	0.05以下	
		ス								

事務事業ID	1157	事務事業名	綾里簡易水道施設整備事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成12年9月、マンガン濃度の高い綾里川ダムの原水により綾里浄水場膜ろ過設備の膜閉塞が起き、断水となった。このため、マンガン除去施設の整備が必要とされ、合併設計画や総合計画に事業登録してきたが、これまで実施に至らなかった。平成28年度に、マンガン対策検討調査を行い、マンガン除去施設整備が認められた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成29年3月末にマンガン高濃度を起因とした濁水(赤水)が発生した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地元から、濁水及び断水にならないようにしてほしいという要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

道水の安定供給を図る。	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 簡易水道施設の整備は、安全な水を安定的に供給することにつながり、その結果、潤いに満ちた快適な都市環境の創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 上水道の整備は、水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 整備の対象が綾里簡易水道であり、その給水区域内人口を対象としていることから、限定・追加はできない。
整備工事(完成)	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 現在、綾里簡易水道の給水普及率は現在95.0%であり、住民の水道への依存度は高いが、すべての住民に良質な水を供給するために、さらに普及率を高めていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事業を廃止・休止すれば、渇水時に安全で安定的な水道水の供給ができなくなる。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既存施設を最大限に利用した施設整備にする形で、事業費の圧縮を図っており、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備に必要な変更認可申請書作成及び設計業務は、専門業者への委託で対応している。そのほかの工事発注業務等は、必要最小限の担当者で対応しており、削減の余地はない。
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 簡易水道使用者から給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果	
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等			
快適な生活環境に資するため、引き続き事業を推進し早期完成を目指す。			

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	当事業は、綾里地区における生活用水の供給に直結する課題であり、この改善には地元からも大きな期待が寄せられているので、計画どおり実施していく。